

政策 3

多様な移動手段の確保

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



今後10年間の政策の方向性

人口減少と高齢化の更なる進展による交通需要の変化に対応した「誰もが安全で快適に移動できる社会」の実現に向けて、多様な移動手段を確保するための取組を推進します。

目指す将来像と現状のギャップと課題

- 1 公共交通の衰退など自動車を使えない県民の移動手段の減少
- 2 物流ニーズの変化と周遊性の低い広域観光
- 3 人口減少の進展により市町村単独では維持が困難になる医療、福祉、商業などの生活に必要な都市機能
- 4 全国ワースト上位の交通人身事故発生件数

取組施策

施策 1 公共交通の整備・維持

【予算額】896,147千円

施策 2 自動車交通網の整備

【予算額】7,450,788千円

施策 3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備

【予算額】2,633,423千円

施策 1

公共交通の整備・維持

取組 1 地域的な暮らしの足の確保

高齢者や高校生などの自動車以外の移動手段を必要とする県民でも、生活スタイルに合わせいつでも気軽に移動ができる暮らしの足の確保に向けて、市町村、交通事業者、地域住民と協調し、環境整備に取り組みます。

新たな移動手段の確保

新たな移動手段の導入可能性について検討し、配車アプリなどICT技術の活用も含めた実証実験を通じて市町村等への導入を支援します。



相乗りタクシー実証実験

地域の実情に合わせた交通手段の見直し

パーソントリップ調査結果やバスロケーションシステムの運行データなどを活用して、地域の生活スタイルに合わせた路線網や移動手段の見直しを支援します。



ボランティア運送（安中市）

取組 2 基幹公共交通軸の確保・維持

鉄道や広域的な幹線バス路線網などの基幹公共交通軸を将来にわたって確保していくため、県内利用者だけでなく、県外からの観光客も使いやすいよう利用環境を改善するなど、広域的な基幹公共交通軸の確保・維持に努めます。

(1) まちのまとまりをつなぐ公共交通の確保・維持（鉄道）

駅バリアフリー化・ステーション整備

誰もが鉄道を利用することができる環境整備のため、駅のバリアフリー化や駅舎整備を支援します。



エレベーター設置



高齢者・障害者対応トイレ

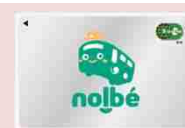
(2) まちのまとまりをつなぐ公共交通の確保・維持（バス）

交通系ICカード導入

初めてバスを利用する人でも、料金支払いに不安を感じることなく、気軽に乗車できるよう、全国相互利用可能な「交通系ICカード」の導入支援を進めます。



交通系ICカード導入イメージ



群馬エリアの交通系ICカード「nojbe（ノルベ）」
2022年3月12日導入

取組 3 新技術を活用した効率的で持続可能な移動手段の確保

今後の高齢化の進展による交通弱者の移動手段の確保を図るとともに、都市内交通の円滑化、環境負荷の軽減、中心市街地の活性化等の観点から公共交通機関への利用転換を促進するため、新技術を活用した効率的で持続可能な移動手段の確保に向けた取組を推進します。

自動運転技術の開発・普及

深刻化する運転手不足に対し、将来にわたってバス路線を確保・維持するため自動運転技術の開発・普及を促進します。



自動運転実証実験



取組1 地域的な暮らしの足の確保

【住民互助による移動手段（相乗りなど）の導入検討】

専門家派遣などを通じて市町村での住民互助による移動手段（相乗りなど）の導入を支援します。

取組2 基幹公共交通軸の確保・維持

(1) まちのまとまりをつなぐ公共交通の確保・維持（鉄道）

【駅前広場の整備】

自動車と歩行者が混在している新桐生駅前について、利用者の安全を確保し、駅前を魅力ある空間とするため、駅前広場の整備を行います。

【中小私鉄への支援】

中小私鉄等の基幹公共交通軸を将来にわたって確保していくため、上毛電鉄などで、中小私鉄への支援を行います。

令和4年度の事業効果

- ・上毛電鉄 踏切保安装置の更新ほか 完了
- ・上信電鉄・わたらせ渓谷鐵道 PCマクラギ化ほか 完了

(2) まちのまとまりをつなぐ公共交通の確保・維持（バス）

【交通系ICカードの導入支援】

より多くのバス路線で、スイカやパスモなどの全国相互利用可能な交通系ICカードの導入促進を支援します。

令和4年度の事業効果

交通系ICカード**導入路線の拡大

【利便性向上・利用促進】

MaaSの社会実装の支援や、バス事業者のDX推進（ハッカソンの開催）などに取り組みます。

令和4年度の事業効果

群馬県MaaSシステム構築

**交通系ICカード(「PASMO」「Suica」「Kitaca」「manaca(マナカ)」「TOICA」「PiTaPa」「ICOCA」「はやかけん」「nimoca」「SUGOCA」)が利用可能な地或独自の交通系ICカード



取組3 新技術を活用した効率的で持続可能な移動手段の確保

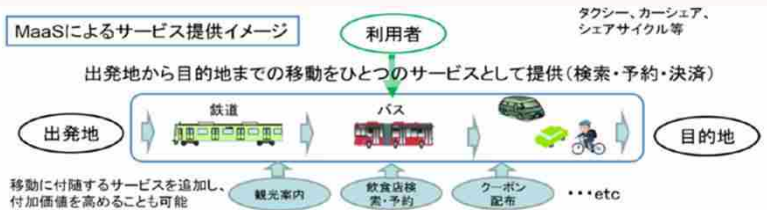
新・総合計画の策定や、県土整備プランの見直し、ニューノーマルへの対応などの社会情勢の変化を踏まえ、まちづくりと連携した公共交通のあるべき姿を示す「群馬県交通まちづくり戦略」を令和4年度中に見直します。

MaaS（マース）の実現

コラム Column

MaaS（Mobility as a Service）とは、あらゆる交通手段を統合し、その最適化を図ったうえで、マイカーという魅力的な移動手段と同等か、それ以上に魅力的なモビリティサービスを提供し、持続可能な社会を構築していこうという全く新しい価値観やライフスタイルを創出していく概念です。

自動車利用に依存した社会からの脱却の一つとして、フィンランドから生まれた新しいサービスで、スマートフォン一つで、ルート検索、予約、決済まで行えて、自分の好みに合った移動手段や移動パターンが自由に選択出来るようになります。県でも、MaaSの普及に向けた取組を推進していきます。



取組1 物流の効率化と観光振興を支える道路ネットワークの構築

(1) 経済活動を支える物流・人流ネットワークの構築

物流の効率化による産業の発展のため、県道苗ヶ島飯土井線（波志江SICアクセス）（前橋市～伊勢崎市）などで道路整備を推進します。

(2) 高速道路ネットワークのストック効果を最大限に活用するスマートIC整備・機能強化

より効率的な物流の実現による生産性の向上や、交流人口の拡大による観光振興を図るため、甘楽スマートICの機能強化などを促進します。

(3) 「人・モノ・情報」を呼び込む隣接県との広域道路ネットワークの整備・強化

隣接県との交流拡大に向け、広域道路ネットワークの整備を推進します。

波志江スマートICアクセス



現在の状況

上信越自動車道 甘楽スマートIC



完成イメージ

県道 桐生伊勢崎線



現在の状況

県道 佐野太田線



現道の状況

取組2 まちのまとまりをつなぐ道路整備

生活に必要な都市機能を相互で補完するため、県道桐生伊勢崎線 阿左美大原工区（みどり市～太田市）など、市町村間を連携し、交流機能を強化する幹線道路の整備を推進します。

取組3 生活を支える道路整備

【バイパス整備】

安全で快適な通行を確保するため、県道恵宝原貝戸線（安中市）などのバイパス整備を推進します。

【交差点改良】

渋滞を解消するため、県道大間々世良田線 世良田交差点（太田市）などで右折レーン設置等の交差点改良を推進します。

令和4年度の事業効果

- ・県道大間々世良田線 世良田交差点（太田市世良田町） 交差点改良 完了
- ・県道佐野太田線 東長岡交差点（太田市東長岡町） 交差点改良 完了

事業の効果

県道大間々世良田線（太田市世良田町）交差点改良事業

～整備前～

- ◆現道は、右折車線がないため渋滞が発生しており、また、歩道が狭く危険な状況です。



現道の状況

～整備後～

- ◆右折車線及び歩道を設置し、歩行者や車両の安全で快適な通行空間を確保します。



一部完成箇所

交差点改良により安全で快適な移動が可能に！

施策3

歩行者・自転車の安全な移動空間の整備

取組1 子どもたちが安心して通学できる環境の整備

子どもたちが安心して通学できる環境を整備するため、学校や警察等の関係機関や地域住民と連携し、通学路等の点検や点検結果を踏まえた歩道整備を推進するとともに、児童が安全に登下校できるよう交通指導員活動を支援します。

合同点検

学校や警察等の関係機関や地域住民と連携し、利用実態を踏まえた通学路の合同点検を行います。

合同点検



歩道整備

通学路においては、合同点検結果を踏まえ、重点的に安全な歩行空間への改善を行います。

通学路の歩道整備



交通指導員活動支援

交通指導員の活動費の一部を補助します。

交通指導員活動状況



取組2 中高生が安心して通学できる環境の整備

通学時における中高生の自転車の交通事故を減らすため、自転車の走行位置を示す矢羽根型路面表示の設置などによる安全な自転車通行空間整備などのハード整備とあわせて、自転車用ヘルメットの着用促進や交通安全教室などに取り組みます。

自転車通行空間の整備

自転車専用の通行位置の路面表示や自転車通行帯を整備し、自転車利用者の安全性向上を図ります。



矢羽根型路面表示



自転車通行帯

ヘルメット着用促進

駅や学校等での啓発活動を通じ、ヘルメットの着用の促進を図ります。

駅での啓発活動



取組3 高齢者が安心して外出できる環境づくり

高齢者の交通死亡事故を減らすため、交通安全教育等の意識啓発や反射材の普及促進など夜間歩行中の視認性向上に取り組むとともに、交通事故が多発する危険箇所の改善を行います。

高齢者交通安全教育



取組1 子どもたちが安心して通学できる環境の整備

【歩道整備】

子どもたちが安心して通学できるよう、県道高崎神流秩父線 吉井町神保工区（高崎市）などで通学路の歩道整備を推進します。

令和4年度の事業効果

- ・県道足利伊勢崎線 天良工区（太田市） 完了
- ・県道高崎神流秩父線 吉井町神保工区（高崎市） 完了
- ・県道沼田赤城線 貝野瀬工区（昭和村） 完了

県道足利伊勢崎線 天良工区



現在の状況

県道高崎神流秩父線 吉井町神保工区



現在の状況

取組2 中高生が安心して通学できる環境の整備

【自転車通行空間の確保】

中高生が自転車通学経路を安全に通学できるよう、県道前橋館林線（太田市）などで自転車専用通行帯や矢羽根型路面表示を整備します。

令和4年度の事業効果

- ・中高生の自転車通学経路 約10,500mで矢羽根型路面表示などを完了

県道高崎神流秩父線



矢羽根型路面表示 施工状況

取組3 高齢者が安心して外出できる環境づくり

高齢者が交通事故の被害者にも加害者にもならないように、交通安全教育等を推進します。

【歩行者対策】

- ・靴用反射シールの直接貼付活動

【運転者対策】

- ・先進安全自動車の体験乗車や運転適性検査等を取り入れた交通安全教育「高齢運転者ミーティング」の実施
- ・運転免許証自主返納サポート事業の推進

令和4年度の事業効果

【歩行者対策】

- ・県内2警察署（渋川署・桐生署）管内で、反射シール1万枚を配布

【運転者対策】

- ・県内16警察署管内で「高齢運転者ミーティング」を実施
⇒累計480名の高齢者への交通安全教育の実施
- ・自主返納の支援事業を行う市町村や事業者、企業、団体等の情報を集約し、県ホームページに掲載して周知
⇒市町村実施事業33件、事業所等実施事業34件

靴用反射シールの直接貼付活動



運転免許証自主返納サポート

